

## 令和 6 年度（2024 年度） 第 4 回小原地域会議 会議録

開催日時	令和 6 年 7 月 30 日（火）		開会	閉会
			午後 6 時 30 分	午後 8 時 30 分
会 場	小原支所 第 1 会議室			
出席者	委 員	竹内正美（会長）、白川悠理（副会長）、成瀬友昭、景山卓己、大林鐘次、小出透、増岡正博、加藤元紀、山内明、成瀬啓一、田澤由佳、鈴木孝典、濱辺誠一、無州麻美		
欠席者	なし			
次 第	<p>開 会</p> <p>1 会長あいさつ</p> <p>2 第 9 次豊田市総合計画策定に係る検討結果報告書…資料 1 小原地域会議からの「答申」に対する市の考え方</p> <p>3 地域課題解決事業（市場城発掘調査）について…資料 2 進捗報告</p> <p>4 おぼらみらいプランの事業化について…資料 3 スケジュール確認・事業化に向けたアイデア出し</p> <p>5 その他（連絡事項・配布物等）</p> <p>連絡事項</p> <p>次回地域会議等開催日程のご案内</p> <p>閉会</p>			

### ◆議事録

2 第 9 次豊田市総合計画策定に係る検討結果報告書  
資料 1 に基づき説明

3 地域課題解決事業（市場城発掘調査）について  
資料 2 に基づき説明  
委員からの意見

○小原中学校、本城小学校は発掘に参加するが、道慈、中部小学校はどうなっているか。

→この 2 校については発掘参加は困難と回答を得ているが、見学という形で調整中。

○市場城跡の駐車場は狭く、発掘作業の人の駐車はどうか。

→支所に駐車してもらい、ここからシャトルバスで輸送を考えている。小中学校についてもこのシャトルバスを使用する。

○発掘調査により、こういったものが発見されるのか。発掘範囲はどれほどの広さか。

→試掘の段階では建物跡があることが判明している。礎石等が見つかればよいが、掘ってみなければわからない。広さは100㎡ほど。

#### 4 おぼらみらいプランの事業化について

資料3に基づき説明

委員からの意見（事業化に向けたアイデア出し）

○小原に泊まれるところがない。空き家を活用し民泊できる場所を里の駅で情報発信できるとよい。

○近くにスーパーも飲食店もない。惣菜が並ぶような、小原の人が利用する里の駅になってほしい。

○小原の人が作る惣菜が理想。食の継承や起業といったきっかけとなる場所を考えたい。

○子どもたちがのびのび遊べる場所、スケボーやバスケのできる場所があれば、子ども同士の交流ができるのではないか。

○交通手段がバスしかなく、せっかく小原に来てもいろいろ回れないのは残念だ。新たな交通手段が必要だ。

○交流館や福祉の里でも交流の場を設けて活動している。これらと違う視点で里の駅でできることを考えなければならない。

○田舎暮らしのお試しで、田植えや収穫作業などの体験ができるとよい。

○里の駅だけですべてを行うことは難しい。小原の情報を集めて発信する情報発信拠点が基本にあり、都市と山村はもちろん、作り手と買い手を結びつけるコーディネーター的役割を持たせることが理想。

#### 5 次回日程

第5回定例会 9月3日（火）午後18時30分～20時30分

支所2階第1会議室